

令和3年度臨床死生学研修 実施要項
～看取りケアに望むケア従事者のコミュニケーションと利用者支援～

1 目的	社会福祉事業従事者は、利用者に寄り添う中で、必然的に利用者の死にも関わり、そこでは支援者自身の「死生観」が問われることがあります。そこで、臨床死生心理学の理論を学び、よりよい利用者支援と自己成長、支援者としての資質の向上に結び付けられることを目的として、本研修を開催いたします。
2 研修形態	ライブ配信研修（Zoom オンライン） ※研修日程のとおり
3 配信日	令和3年11月25日（木） 9：55～16：00（Zoom オンライン 5時間） ※Zoom入室開始は9：20～
4 対象者	社会福祉施設・事業所に勤務しているすべての職員 【定員】95名 ※定員になり次第、申込期限前でも締め切らせていただきます。（先着順）
5 受講料等	会員 3,000円（税込）1人あたり・資料代を含む 非会員 5,000円（税込）1人あたり・資料代を含む ※申込締切後、請求書をメールでお送りしますので、期限までに必ずお振込み下さい。 期限までに受講料を振り込まれない場合は、研修に参加することができません。
6 申込方法	研修システムにより、お申込下さい。 ※申込された方は、申込締切後「承認通知」をメールで送付します。
7 申込期限	令和3年9月27日（月）～令和3年10月28日（木）まで
8 留意事項	<p>① 修了証の氏名は受講申込者となりますので、受講者を変更する場合は、システムで変更して下さい。</p> <p>② 申込締切後のキャンセルについては、「社会福祉事業従事者研修受講料のキャンセルポリシーについて」をご確認下さい。（代理の方の出席をお勧めします。）</p> <p>③ 受講申込みに記載された個人情報は、当該研修の運営管理の目的にのみ使用いたします。</p> <p>④ 配信などの変更・中止等は、研修システムページに掲載します。⇒掲載場所 ⇒ <u>茨城県社会福祉協議会研修システムページ</u> (https://www.ibaraki-kenshu.jp/kenshu_user/) 茨城県社会福祉協議会トップページからシステムページに入れます。</p> <p>⑤ 研修受講場所や方法を事業所で決定してからお申し込み下さい。</p> <p>⑥ 動画を視聴するためには、インターネットに接続できる環境及び資料等をプリントアウトできるプリンタ等を準備していただく必要があります。</p> <p>⑦ 動画と資料データの著作権は、研修講師にあります。録画・録音・撮影、スクリーンショットやダウンロードおよび資料等の無断転用や受講用URLの無断転載は固くお断りいたします。万が一これらの行為が発覚した場合、著作権および肖像権侵害で対処させていただくことがございます。</p> <p>⑧ 不明な点などがございましたら、事前に下記までご連絡下さい。</p>
9 修了証	研修レポートを期限までに提出した方は、レポート提出締切後、マニュアルP13を参照の上、修了証をダウンロードして下さい。
10 問合せ先	社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部（平間） TEL：029-244-3755 E-MAIL：kenshu@ibaraki-welfare.or.jp

研 修 日 程

【ライブ配信研修 (Zoom オンライン)】

日 時	研修科目及び講師等	ねらい
令和3年11月25日(木) 9:20~9:55 9:55~10:00	Zoom 入室開始・承認 開講／オリエンテーション	
10:00~12:00	講義・演習 「生きること、生、命、死について」 ・豊かな生とは ・死生学の定義	生きること、命、死について学ぶことで、利用者支援やコミュニケーションスキルアップにつなげます。また自己成長の情報を引き出す手法を学びます。
12:00~13:00	昼食・休憩	
13:00~16:00 (適宜休憩があります)	講義・演習 ・関係の命 ・死別から共存への臨床死生学 ・事例を通して「大切な人をなくした経験からはじまるもの」 ・シェアリング	
16:00	閉講	

※双方向研修であることと、演習を実施するため、一人1台のパソコンと、イヤホンマイクをご準備の上、参加して下さい。

※本研修の動画と資料データの著作権は、研修講師にあります。複製、録画は違法となりますので、絶対に行わないで下さい。

講師紹介:日本ケア・カウンセリング協会 代表理事 品川 博二 氏

臨床心理士。専門は、ターミナル・ケアおよび生活習慣病における、認知行動療法とナラティブ・アプローチとしての「行動形成法」(認知と行動の集団変容法)の実践研究。早稲田大学卒業後、東京教育大学(現、筑波大学)教育相談研究所にて臨床研修を修了。千葉県・磯ヶ谷病院心理室長を経て、2000年内閣府認証・特定非営利活動法人日本ケア・カウンセリング協会を創立、同代表理事。これまでに東京学芸大学、目白大学大学院、聖路加国際病院精神腫瘍科、千葉県医療技術大学校の講師を歴任、また横浜地裁の精神鑑定人(心理分析)も務めた。現在、札幌学院大学社会連携センター講師。日本カウンセリング学会・日本行動療法学会所属。また東日本大震災の復興に向けて、「もりおか復興支援センター」等への心理援助プログラムを実施した。(日本財団・三菱商事助成事業)。

【研修前準備と研修後のレポート提出について】

配布資料	ライブ配信研修前には、研修システムページにログイン後、「課題管理ボタン」から資料をダウンロードして下さい。 ※各受講生1回のみダウンロード及び印刷とし、他者へ資料を転送しないようにお願いします。
レポート	修了証を希望する方は、研修終了後12月2日(木)までに、レポートの提出をお願いします。それ以降は、修了証の発行対応ができませんので予めご了承下さい。 研修システムマニュアル Ver8.1 のP24を参照下さい。 課題管理ボタンからレポートをダウンロードし、受講生が回答後、システムから提出下さい。

-ケア・カウンセラー資格取得について-

この茨城県社会福祉協議会（以下、県社協と言う。）が開催するこの研修は、特定非営利活動法人日本ケア・カウンセリング協会（以下、協会と言う。）主催の「ケア・カウンセラー養成講座」と連携しており、本研修の修了により、資格取得に必要な単位のうち、**5単位**が取得できます。

***ケア・カウンセラー4級及び3級の資格取得には、下記の単位数を取得が必要です。**

*ケア・カウンセラー4級⇒25単位（時間）受講 ケア・カウンセラー3級⇒48単位（時間）受講

*「ケア・カウンセラー」は協会の任用資格の為、**資格登録には日本ケア・カウンセリング協会に入会する必要があります。**（ケア・カウンセラー登録は本人の任意です）。

*「ケア・カウンセラー」の名称は特許庁に登録されています（商標登録法）。

***修了証は、研修に参加し、研修レポートを期限までに提出した者に発行します。**

*県社協で受講された方の出席・単位等の管理は県社協です。（それ以外の講座の管理はその講座の主催者になります。）

「ケア・カウンセラー」についてのお問い合わせは、メールで日本ケア・カウンセリング協会へ

〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-15 ウィン青山 942

<http://www.npojcca.org> e-mail: npo-jcca@npojcca.org